



き、感謝の言葉を自然に伝えることができた。また、「どきどきわくわくまちたんけん」では、学区を探検し、町の様子を観察した。児童は、普段通る道や利用する施設を改めて見直し、新しい発見を楽しむ姿が多く見られた。活動後の話し合いでは、見つけたことを積極的に共有し、友達の発見に興味を示すなど、協働的な学びが進んでいる。

これらの経験から、児童は身近なものに目を向ける力や、人と関わることの楽しさを育んでいる。一方で、質問や調べ方にはまだ不十分な面があり、探究的な学びを深めるためには、問いをもって調べる活動や情報を整理し発表する力をさらに伸ばす必要がある。本単元では、これまでの経験を生かし、地域の人々と主体的に関わりながら、町の魅力や支えを発見し、感謝の気持ちをもって表現する力を育てることを目指す。

### (3)指導観

本単元では、児童が地域の人々や施設と関わりながら、自分たちの生活が多くの人に支えられていることに気づくことを重視する。単なる見学で終わらせず、児童が主体的に問いをもち、調べ、発見する過程を大切にする。町探検は、児童にとって身近な場所を新しい視点で見直す機会であり、地域の魅力や工夫を発見することで、地域への愛着や誇りを育てる学習となる。指導においては、児童の興味や疑問を引き出すために、事前学習で「どんなことを知りたいか」を話し合い、探検の目的を明確にすることが重要となる。活動中は、地域の方とのやり取りを通して礼儀や感謝の気持ちを実践的に学ぶ場を設定し、児童が自分の言葉で質問し、答えを受け止める経験を積ませる。探検後は、調べたことを整理し、友達と共有する場を設けることで、情報を選び、分かりやすく表現する力を育てる。

本単元は、地域と学校が協力し、児童の学びを支えることで成立する。教師は、児童の安全を確保しながら、地域の方々との連携を円滑に進める役割を担うとともに、児童が主体的に学ぶ姿を支援するファシリテーターとして関わることが求められる。

### (4)ESD との関連

#### ・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

多様性…地域には商店、公共施設、自然など多様な環境や人々の営みがある。それぞれが異なる役割を果たし、生活を支えていることに気づくことで、多様性を尊重する態度を育てる。

相互性…自分の生活が地域の人々の働きや工夫に支えられていることを実感し、人と人、社会と自然のつながりを理解する。これにより、持続可能な社会を考える基盤を形成する。

連携性…地域の方や施設と協力して探検を行うことで、「人と人」「人と社会」「社会と自然」のつながりを実感する。

#### ・本学習で育てたい ESD の資質・能力

##### コミュニケーションを行う力

地域の人に質問したり、探検後に学んだことを発表したりする活動で、児童は情報を整理し、相手にわかりやすく伝える力を育てる。

### 他者と協力する態度

探検の準備や質問づくり、訪問時のやり取りなどで、地域の方や仲間と協力する場面が多くあるため、児童は役割分担や助け合いを通して、協働の価値を体験的に学ぶ。

### つながりを尊重する態度

町探検を通して、児童は自分の生活が地域の人々や施設に支えられていることを実感する。商店や公共施設で働く人々の工夫や努力に気づき、そのつながりを大切にすることを育てる。

## ・本学習で変容を促す ESD の価値観

### 世代間の公正

地域の人々の働きや工夫に触れることで、今の生活が過去からの努力や知恵に支えられていることに気づく。

### 幸福感を重視する

・探検を通して「町のよさ」を見つけ、地域に誇りや愛着をもつことが、児童自身の幸福感につながる。さらに、地域の人々と交流することで、人とのつながりの温かさを感じる機会をつくる。

## ・達成が期待される SDGs

4, 教育 11, 持続可能な都市・まちづくり

## 4、単元の評価規準

(ア)知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力	(ウ)主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の施設や人々の働きについて理解している。</li><li>・自分の生活が地域の人々や施設に支えられていることを理解している。</li><li>・活動内容を理解し、学習の計画を立てることができる。</li><li>・地域の人に礼儀正しく質問し、答えを理解しようとしている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・探検で調べたことを整理し、分かりやすくまとめている。</li><li>・発表や話し合いで、自分の考えについて根拠をもって伝え、友達の意見を取り入れようとしている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域や町の様子に興味をもち、探検や交流に進んで参加している。</li><li>・自分の疑問や関心をもとに質問を考え、調べようとしている。</li><li>・仲間や地域の人と協力しながら活動を進め、公正な役割分担を意識している。</li></ul>

## 5. 単元計画（全12時間）

次	学習活動	学習支援	評価
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もういちどたんけんに行こう</li> <li>地域の場所や人について、もっと知りたいという思いをもち、行き先や調べたいことを決める。</li> <li>・行きたい場所を決める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期の探検を振り返ったり、日常生活の地域での経験を思い起こしたりする。</li> <li>・行き先のイメージを持たせるため、お店や施設など分類する。</li> </ul>	主体的
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たんけんの計画を立てよう</li> <li>①店別のグループになって話し合う。</li> <li>②グループで質問したいことをまとめる。</li> <li>③まちたんけんの約束を話し合う。歩き方、あいさつ、マナーなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や写真を提示し、訪問先のイメージを共有できるようにする。</li> <li>・グループ編成時に、児童の希望を尊重しつつ、バランスよく分ける。</li> <li>・「どんなことを知りたい？」を考えるための質問例カード（例：お店の工夫、働く人の仕事、人気の理由）を提示する。</li> <li>・質問を分類する活動（仕事・工夫・お客さんへの思いなど）を取り入れ、整理しやすくする。</li> </ul>	主体的 知・技
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちたんけんに行こう</li> <li>各グループでお店に行き、質問をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問カードを持たせ、聞きたいことを確認しながら訪問できるようにする</li> </ul>	主体的 思・判・表
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見つけたことを話し合おう</li> <li>①グループの友達と、見つけたことを整理してまとめる。</li> <li>②クラスでの発表会にむけて、見つけたことを伝える方法を考える。</li> <li>③発表の準備、練習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「仕事」「工夫」「お客さんへの思い」など分類の観点を提示し、情報を整理しやすくする。</li> <li>・発表の形式例（ポスター、スライド、寸劇など）を提示する。</li> </ul>	思・判・表 知・技
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかったことを伝え合おう</li> <li>①たんけんで分かったことを学級で紹介し合う</li> <li>②ふりかえり</li> <li>・お世話になった方にお礼のメッセージを書こう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふりかえりの視点を提示する。（例：「新しく知ったこと」「驚いたこと」「もっと知りたいこと」</li> <li>・支援が必要な児童に対して構成を示したり、言葉選びを一緒に考えたりする。</li> </ul>	思・判・表 主体的